



榎本 義輝 議員 (自民クラブ)

新型コロナワクチン 接種計画について



町長 効率的に接種ができるよう
改善を図りながら進める



ワクチン接種のシミュレーション

デジタル活用支援員とは…

高齢者等に身近な場所で、ICT機器による行政手続きや利用ニーズの高い民間サービスの利用方法の助言や相談などができる人。デジタル格差解消を図る。

町長 活用を検討したい。

体で随時協議できるよう準備する。ワクチンの供給量や時期に合わせ、各医療機関の受け入れ可能人数、集団接種の体制など、より効率的にワクチン接種ができるように改善を図りながら進める。接種会場への移動手段は、接種券の提示で、手続きなしで福祉バスに乗車ができるようにする。

質問 政府は、接種を優先順位を踏まえて実施する計画を明らかにしている。
また、厚生労働省は、65歳以上の高齢者に「接種券」を3月中旬以降に配り始め、接種開始から2回目の接種までを3カ月以内に終

えるスケジュールを示している。
細かな情報が少ない中、不安に感じている町民も多いと思う。接種を受けられる場所や接種後の経過観察の方法やスペース、医療従事者の確保状況などワクチン接種計画を確認する。

町長 接種方法については、接種会場を設ける集団接種と、町内医療機関での個別接種を基本とする。接種時に副反応が見受けられた場合は、医師がその場で応急処置を行う。医師や看護師への協力要請などは西多摩地域全

委員会活動報告

交通対策特別委員会



3月16日、交通対策特別委員会は町長に提言書を提出しました。

町は地域公共交通会議を設置し、住民の声を基にコミュニティバスの実証実験を決定しました。委員会では、多くの住民に利用していただく事業を目指し、公共交通の在り方について調査・研究してきた内容を踏まえて以下の点（要約）について町長に提言を行いました。

提言内容

- 1 住民が主体的に意見やニーズを集約し提案できる仕組みの構築
- 2 担当部署の設置
- 3 実験開始後の柔軟な対応と「見える化」
- 4 利便性の向上の一助としてロケーションシステムの導入



提言書を町長に提出



村山 正利 議員 (自民新政会)

これからの町政運営を問う



町長 歳出縮減と補助金の確保を図っていく

質問 町でも新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している中で、住民に対して多くの施策が実施されている。このような状況下で、3年度の町予算が編成された。3年度は、第5次長期総合計画がスタートする大変重要な年度と認識している。

多くの行政サービスを維持し推進していかなくてはならない。そのため、歳出縮減と既存および新たな補助金などの獲得を図りたい。今後、財源増加は望め

ず、確保自体が難しい場面もあると思うが、新たな長期総合計画の目標実現に向けて、未来につながる施策を、勇気を持って展開していく。

そこで、今後も新型コロナウイルス感染症対策の経費の増加が予測される中で、これからの行財政運営をどのように進めていくのか、町長の所見を伺う。



町政の骨格となる長期総合計画と一般会計予算



原 隆夫 議員 (公明党)

新型コロナ対策ともなる窓口での キャッシュレス決済等の導入を

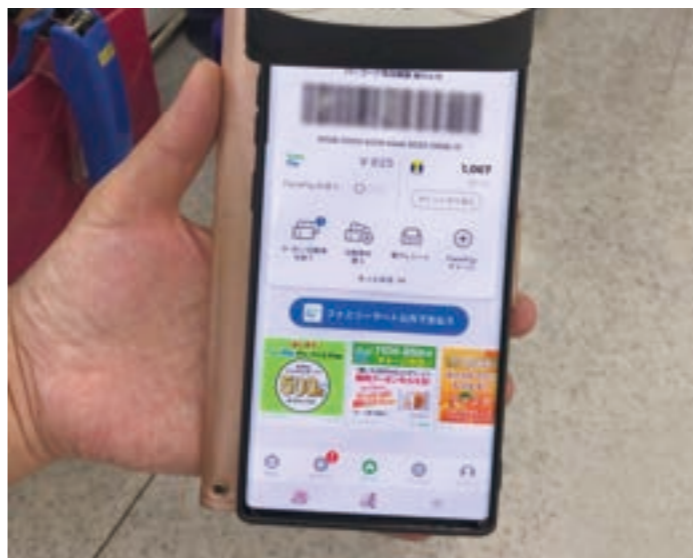


町長 3年度から税の電子マネー収納を導入する

質問 三鷹市は先ごろ、新型コロナウイルス感染症対策および住民の利便性向上のため、市民課窓口の証明書交付等手数料支払いに、電子マネーやクレジットカード、スマホ決済「Pay Pay」などの2次元コード決済に

よるキャッシュレス決済と、セミセルフレジ（現金自動精算機）を導入した。現金授受がなくなり接触機会の減少と、時間短縮が期待される。多様な決済手段に対応するため、我が町も導入すべきと考えるが、町長の所見を伺う。

町長 取り扱い機器自体の消費などの手間は、あるものの、全体的には効率的であると思う。



スマホ決済画面